



1987年6月13日、2131試合連続出場を達成し、花束を手にする衣笠祥雄さん

え、GDP比は先進国で最悪となった。不測の事態がおきて市場が崩れ、国債価格が暴落するような事態になったらどうなるか。かつてのような大増税や超インフレに見舞われてもおかしくない。平成経済はそんな潜在リスクを膨らませた。

反論もあるだろう。「いまは日本経済がずっと強く、国民資産も豊かなので破綻することはない」と。実はそんな強気の主張も、戦前の当局の言い分と二重写しだ。

平成は「財政不健全化の時代」（石弘光・元政府税対米開戦前夜の1941年10月、大政翼賛会は全国の隣組に宣伝読本「戦費と国債」を150万部配った。国債は節税に有利で利回りもいい、出征した子のため、花嫁の持参金にどん

た人が「500」を超えたぞ。国を挙げて取り組み」と電話を入れた。相手は官房副長官で連立政権の要、さきがけの園田博之。元自民党で当選。回、52歳の衆院議員だった。「500」を70歳の村山にすぐ伝え、国民に深刻さを訴える記者会見へ事を運ぶ。もう1人の長老は元副総理で80歳の後藤田正晴。戦前の内務官僚出身で危機管理にたけた重鎮は、震災発

その後も竹下は村山に、後藤田は官房トップの官房副長官、68歳の石原信雄に電話しては発破をかけた。長老が出ざるをえなかった初動の深刻な遅れ。石原は竹下内閣の87年から務めた官房副長官を震災翌月に辞めると、「罪滅ぼし」にと平成を通じ危機管理の強化へ提言を続ける。一方で園田は、政権交代に揺らがない保守二大勢力を築く政界再編を追い続けた。

折々のことば 驚田 清一 1091
対談の相手、大病院医師・稲葉俊郎の、体の弱い人とは「体に対して敏感で、感受性の高い人」だとの発言に、音楽家はこう返す。病気になる、人は体調の変化に耳を傾ける。気圧や湿度の変化、空気の動きにも敏感になる。音楽は、楽器と体と空間とが共鳴しあうもので、たんに耳の快感としてあるのではないということか。昨日と同じ「見えないものに、耳をすまします」から。
2018・4・26

折々のことば 驚田 清一 1090
制調査会長）であり、驚くほど戦前に似ている。将来、極度の国民負担を強いる「第2の敗戦」へ歩んだ。
（編集委員・原真人）
▼3面「識者の見方
時代だと歴史に刻まれることはないだろうか。
山本浩二さんは一番の思い出は「初優勝した年（1975年）のオールスター戦で2人が2打席連続本塁打」と述懐。「休みたいと思っても、彼がそばにいます。限り休むことは許されなかった。最高のライバルであり、チームメイトであり、お手下になる選手だった」

130種類の植物から
酵素
すごい！
お試し
30%割引
日本盛
植物生まれの酵素
ヤホン玉にはこの季節が
輝く。もとより旬などに
た。私たちが使い慣れ
かに多くを彼の独創に
▼へしやばん玉底にも
篠原梵。陽光を浴びて
ヤホン玉にはこの季節が

東京私立中学
合同相談会
174校参加
先着7,000名
ご来場の皆様に
プレゼント！
私立一貫教育の特色と
各校の教育方針を徹底
に解説したガイドブック

出場の偉業を打ち立て
嘱託としてコラム「鉄
た。左右の人さし指だ
独特の打法。ひらがな
少ない。ただその原稿
ける言葉であふれてい
だ」。二十数年前、衣
情を大写真にしたボス
内に貼り出された。休
かけだった。骨折して
人に「休め」と言われ
まなきやいけいない、
である▼球界でも、連
しろ、休むことの大切
になって久しい。「選
な」「故障に泣く人
とオフの重要さを球界
人は、そんな言葉を残